

第5回 新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会 審議結果

日時：平成25年11月7日（木）13:00～15:40

場所：大阪コロナホテル 本館3階会議室 310号室

出席者：阪田憲次座長、浅井敏彦委員、河野広隆委員、佐々木隆委員、
箱石憲昭委員、渡辺博志委員 ※鎌田敏郎委員は都合により欠席

資料：資料1 議事次第
資料2 洪水吐きゲート操作性について
資料3 現地状況について

審議内容

1. 洪水吐きゲート操作性について

平成25年9月までのプラムライン観測、トータルステーション等の計測結果をもとに堤体挙動について報告し、洪水吐きゲートの操作性を確保するための門柱変位抑制工の設計方針について審議した。結果は以下のとおり。

- ・計測データ等によれば、門柱変位の累積は続いている。
- ・既設橋桁を活用した変位抑制工は、各種構造形式を検討した結果、橋桁と門柱の一体構造案（間詰案）で今後詳細な検討を実施することとする。
- ・的確な安全管理、堤体挙動メカニズムの解明および恒久的な対策に資するためのモニタリング方法を今後さらに検討していく。

2. 現地状況について

ゲート戸当り整備工事の進捗状況、および戸当りの一部付替えにおいて戸当り撤去前後のゲートの挙動について報告した。

3. 今後のスケジュールについて

- ・第6回検討会は次年度の4月以降に開催予定とする。

（以上）